

叶かなひ、作つくりもよく出来でき、とり実みも多くこれある

ものに候、何ほど親に孝行のこゝろありとも、

手前てまへふべんにてハなりかたく候間、なる程

身持をよく仕るべく候、身上ならず候へハ、貧苦ひんく

の煩わづらひも出来、心もひかみ、またハ盗ぬすをも仕り、

公儀御法度をも背そむき、しばりからめられ、牢らう

入いり又は死罪しづい・磔はりつけなどにかゝり候時ハ、親の身に

なりてハ、何ほとかなしくこれあるべく候、其上そのうへ

妻子さいし・兄弟きやうだい・一門いちもんの者ものにも嘆なげきをかけ、恥はぢをさらし

候間、能々よくよく身持みもちをいたし、ふべん仕らざるやうに

毎日まいにち毎夜まいやこゝろかけ申へき事、

右のことくに、ものこと念入ねんいれ、身持をかせき

申へく候、身上よくなり米こめ・金かね・雑穀ざみくをも

持候ハ、家いへをも能つくり、衣類いるぬし食物しょくもつ以下に